

案内

市立図書館の臨時休館

市立図書館は、蔵書点検・図書整理のため臨時休館します。

- ▶ 臨時休館日／3月2日(月)～6日(金)
- ▶ 問合せ／同館(☎78-2622)へ

令和7年版 市の統計データ

市の概要を広く紹介するため、人口や産業、教育・文化、観光の状況など基本的な統計資料を作成しています。

令和7年版は市HPからご覧いただけます。

詳しくは、行政管理課(☎47-8241)へ。



市HP

ごみ収集のお知らせ

問合せ／クリーンセンター(☎89-4124)



収集日	もえるごみ	もえないごみ ペットボトル	プラスチック製 容器包装
2/23 (月・祝)	収集を休みます		
この日が収集日の区域は、2/26(木)に収集します			
3/20 (金・祝)	収集を休みます		
この日が収集日の区域は、3/24(火)に収集します			

審議会などの傍聴ができます

介護保険運営協議会

担当：介護保険課(☎47-7409)

2/18(水)	15:30～16:30	スイトピアセンター文化会館3階 会議室3
・介護保険条例の改正について		

社会教育委員の会

担当：社会教育スポーツ課(☎47-8039)

2/24(火)	9:00～11:00	市役所4階 会議室4-2
・第2次教育振興基本計画の評価について ほか		

図書館協議会

担当：市立図書館(☎78-2622)

2/27(金)	13:00～14:00	市立図書館3階 会議室
・令和8年度の事業計画(案)について ほか		

市民病院・豊田院長の健康コラム No.23

移植医療

～提供者の尊い気持ちと医療スタッフの努力が結集してはじめて実現する医療です～

皆さん、こんにちは。市民病院院長の豊田秀徳です。健康コラム第23回をお届けします。

市民病院では、昨年末に脳死移植の臓器提供がありました。今回はこの移植医療についてお話ししたいと思います。

移植は、現代医療においては大事な柱となる治療のひとつです。心臓や肺・肝臓など、生きていくためになくてはならない臓器が病気によって衰え、体をまかなえなくなった患者さんに対して、その臓器を他の人の健康なものに置き換えるのが移植医療です。腎臓や角膜に対しても移植医療が行われています。

わが国では、長らく脳死提供者(ドナー)が少なく、健常人の臓器を移植する生体移植が専ら行われていましたが、世界的には脳死された方の健康な臓器を移植する脳死移植が主に行われてきました。今ではそれぞれの臓器の移植手術の方法・拒否反応の防止薬が発達・確立し、安全に移植医療が行えるようになってきました。

移植医療、特に脳死移植は、ひとえに提供者・ご家族の尊い気持ちがあつて可能となる医療です。提供者の約5分の1はマイナンバーカードやドナーカードで臓器提供の意思表示をされている方です。何らかの理由で脳死状態になった時に、ご家族に臓器提供という選択肢があることを説明し、同意をいただいた上で移植を検討することになります。脳死移植の提供者になる方は、急な病気や事故で脳死状態に至っている方が多く、ご家族はまず本人さんの死を受け入れなくてはなりません。そのような状態に



自力避難に心配がある皆さん 災害時要援護者台帳に登録を

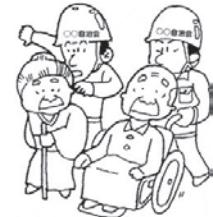
ひとり暮らしの高齢者や障がいがある人などは、災害発生時の避難に手助けが必要な場合があります。

災害時要援護者台帳は、こうした人の氏名・住所・緊急連絡先などを本人の同意により登録するもので、自治会などにあらかじめ提供され、災害発生時の援護活動などに活用されます。

自力での避難に心配がある人はご登録ください。

▶ 対象／市内で在宅生活し、災害発生時にご自身や家族などによる避難が困難な人で、次の①～⑥のいずれかに該当する人

- ①65歳以上のひとり暮らし高齢者
- ②要介護認定を受けている人(要介護1以上)
- ③身体障害者手帳を持っている人
- ④療育手帳を持っている人
- ⑤精神障害者保健福祉手帳を持っている人
- ⑥その他災害時に地域の援護が必要な人



▶ 台帳の提供先／地元の自治会、担当区域の民生委員・児童委員、社会福祉協議会、警察署、消防署

▶ 申込／直接、社会福祉課(上石津・墨俣地域事務所も可)へ。または、申込書(市HPからダウンロード可)に必要事項を記入して、同課(〒503-8601丸の内2-29)へ

▶ 問合せ／同課(☎47-7256)へ

災害の状況によっては、支援する人が被災する場合もあります。「自分の身は自分で守る」ということを心がけてください。

養老鉄道「受験生応援 無料乗車キャンペーン」

養老鉄道では、高校受験に臨む受験生を応援するため、入試日の乗車運賃が無料になる「受験生応援 無料乗車キャンペーン」を実施します。

▶ 対象／岐阜県西濃・岐阜地区の公立高校および特別支援学校、三重県北学区の公立高校および特別支援学校を受験する人

▶ 内容／受験票を駅員に提示すると養老鉄道全線で入試日の運賃が無料になるキャンペーン ※無人駅は、運転士、車内係員に提示

▶ 問合せ／養老鉄道(☎78-3400)へ

おいて臓器提供に同意をしていただくには、相当な努力と心の整理が必要です。一方で、臓器をより良い状態で移植を待つ患者さんに届けるためには、より早く提供することが必要でもあります。

私たち病院スタッフも移植手術がより確実に成功するように、そして提供者やそのご家族の想いがより確実に届くように、出来るだけ良好な状態で臓器を届けるべく最大限の努力をします。移植は、臓器をより良い状態に保つ医師、ご家族をケアする看護師、より適切な移植希望者(レシピエント)を選択して連絡をとり体制を整える移植コーディネーター、そして外から来る臓器移植チームの受け入れ・臓器搬送のための交通などの手配をする事務職など、提供者の想いの上に多職種の医療スタッフの努力が結集してはじめて実現する医療なのです。

今回は市民病院の手術室において、提供者の方の肺と腎臓、角膜が摘出され、肺は関東の病院へ、腎臓は北陸の病院へと移植のために運ばれていきました。そして、その日の夜のうちに待っている患者さんに移植されました。それぞれの臓器が患者さんを救ったのです。

移植医療はわが国ではまだまだ「特殊な治療」というイメージがあります。もちろん移植が必要なくなるようなお薬や、再生医療により自分の体から臓器を作つて補えるようになるのが将来の夢です。しかし現実的には今、移植をしないと命を落とす患者さんがそこにいるのです。それを救う脳死移植は今後も大切な治療です。

心臓	956	肝臓	1,063	脾臓	580
肺	1,031	腎臓	5,283	小腸	34

1995～2024年度の日本の移植数
(出典：日本臓器移植ネットワークHP)

コラムで取り上げてほしい話題などは、入力フォームへ



入力フォーム